

森林管理署における 自動撮影装置による 野生動物の調査について

後志森林管理署
野崎龍彦
高久雄太



はじめに

- 生物多様性保全
- 希少野生生物保全



野生生物の生息・生育環境に
配慮した森林施業

野生生物に配慮した 森林施業を行うために

- 動物種・生息状況・実態等の把握
- 基礎資料の収集
- 特定外来生物の移入状況の把握
- 生息個体数の推測

などの調査が必要

目的

- 森林管理署において野生動物の調査を行うこと
- 伐採等の森林施業が野生動物に与える影響を評価できるか検討すること

調査方法

- 「自動撮影装置による野生生物観測ネットワーク」に参加（森林総合研究所主催）

「自動撮影装置による野生生物観測ネットワーク」とは
森林総合研究所北海道支所の技術的サポートのもと様々な機関が自らのその森林管理、野生生物管理、研究のために主体的に野生生物の観測を行い、全道的な観測網から得られるデータを野生生物の各種問題等に活用する。詳しくはWebで！！



自動撮影装置について



YoyShot G3

- 野生動物の出現を体熱で検知して撮影
- 豊富な調節機能
- シカからネズミまで撮影可能
- 操作が簡単で省力的！！

調査箇所・方法等

- 2008年 10月～11月
日高南部森林管理署御園西森林事務所
伐採（択伐）現場付近とその他
- 2009年 10月～11月
日高南部森林管理署御園西森林事務所
後志森林管理署 喜茂別森林事務所
- 2010年 7月～9月
後志森林管理署 京極森林事務所

大型ほ乳類



エゾシカ 日高南部



エゾシカ 日高南部



ヒグマ 後志/京極



ヒグマ 日高南部

中型ほ乳類



キタキツネ 日高南部



タヌキ 日高南部



ユキウサギ 日高南部



クロテン 日高南部

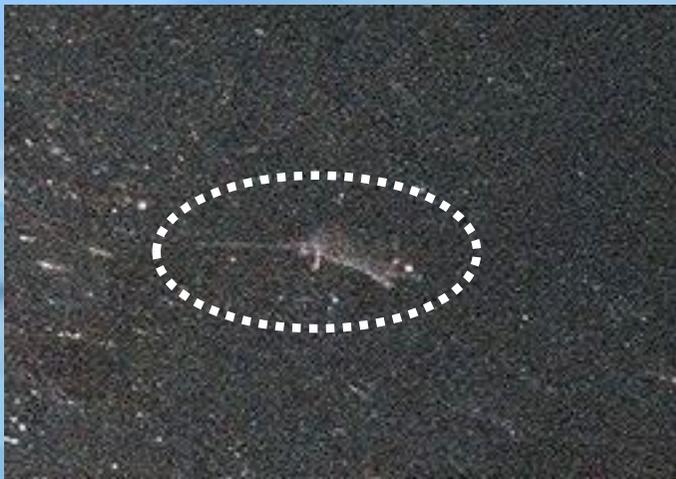
小型ほ乳類



エゾリス 後志／喜茂別



シマリス 日高南部



ネズミ類 後志／喜茂別



コウモリ類 後志／京極

鳥類



フクロウ 後志／京極



マミジロ 後志／京極



カケス 日高南部



エゾライチョウ 日高南部

その他



重機 後志／京極



北電さん 日高南部



キノコ採りのおじさん 日高南部



復路

外来種



アライグマ 後志／京極



ニホンテン 後志／喜茂別



ミンク 後志／喜茂別

生息が確認できた動物種

• 後志

-ほ乳類

ヒグマ エゾシカ キツネ
タヌキ ウサギ エゾリス
シマリス ネズミ類
コウモリ類 アライグマ
ミンク ニホンイタチ

-鳥類

キジバト ツグミ トラツグミ
アカハラ フクロウ キビタキ
マミジロ ウグイス
ミソサザイ

• 日高南部

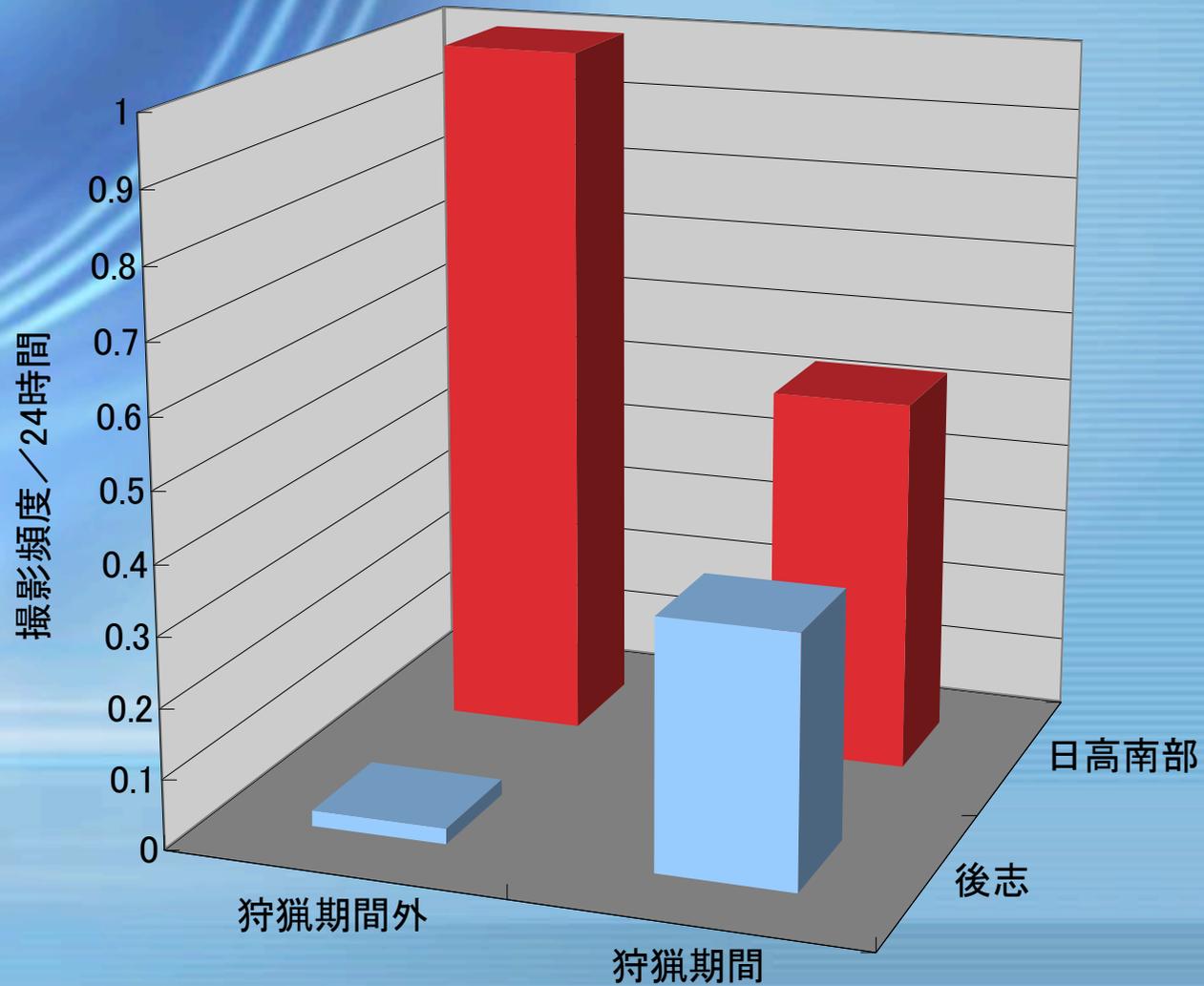
-ほ乳類

ヒグマ エゾシカ キツネ
タヌキ ウサギ エゾリス
シマリス ネズミ類
コウモリ類 クロテン

-鳥類

エゾライチョウ カケス
オオアカゲラ ハシブトガラ

エゾシカ撮影頻度の比較



森林施業の影響について

伐採現場で存在が確認できた動物

	伐採期間前	伐採期間中	伐採期間後
ヒグマ	○	—	○
エゾシカ	○	○	○
キツネ	○	○	○
タヌキ	○	○	○
クロテン	—	—	○
ユキウサギ	—	—	○
エゾリス	○	—	—
コウモリ類	○	—	—
ネズミ類	○	—	—
カケス	○	—	○

期間を通して確認できた動物

伐採期間中確認できなかったが伐採後に確認できた動物

伐採期間以降確認できなかった動物

伐採期間後に新たに確認できた動物

エゾシカ、キツネ、タヌキ

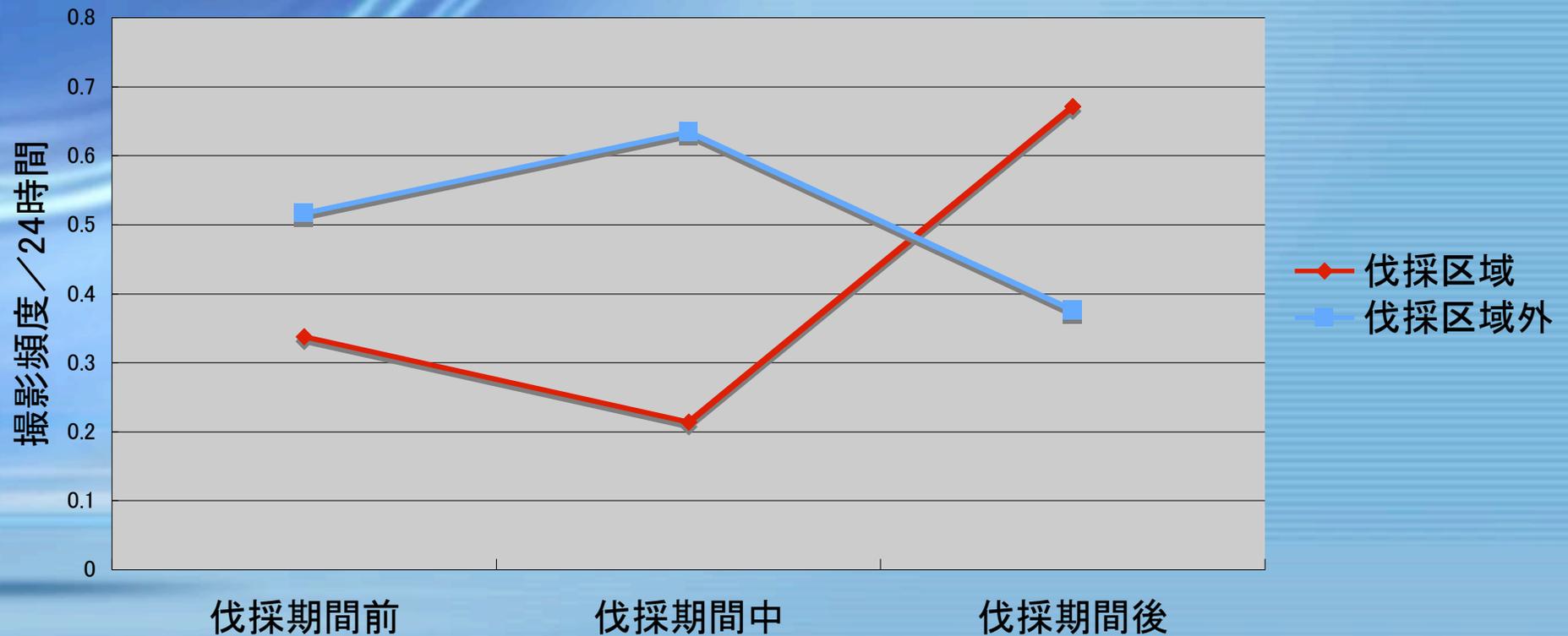
ヒグマ、カケス

エゾリス、ネズミ類、コウモリ類

クロテン、ユキウサギ

森林施業の影響について

全動物種の撮影頻度の推移(エゾシカを除く)



まとめ -影響評価について-

- 伐採期間中のみ撮影頻度が低下
→伐採後回復
- 伐採期間中のみ動物の種類が減少
→伐採後回復

我々が考えているほど動物は気にしていない！？

データ量を増やすことでより詳細な評価が出来る

最後に

- 全道にある森林管理署でネットワーク化
→ 外来種の分布状況等 2次元の情報に！
- 学術研究やシカ・アライグマ対策、クロ
テンの保全など多様な目的に活用

SpecialThanks

- 森林総合研究所北海道支所森林生物研究グループ 平川浩文様
- 日高南部森林管理署の皆様
- 後志森林管理署の皆様

参考文献

自動撮影による野生生物モニタリングのすすめ(2007 平川)

自動撮影調査から動物の密度がわかるか(2004 平川)

林道を利用した自動撮影による中大型ほ乳類の調査手法(2004 平川)

生物多様性の観点からみた北海道国有林の現状と課題(2007 北海道森林管理局)